

## 第 39 回歴史地震研究会 総会議事録

日時：2022 年 9 月 17 日（土） 13:10～14:20

場所：関西大学高槻ミュージックキャンパス

### ■定足数確認（大邑総務委員長）

歴史地震研究会会則第 20 条により、総会は会員の 10 分の 1 の実出席を要すると定められている。現在の会員数 258 名、総会参加会員数は 51 名、委任状提出 46 名(代理人を議長とするもの 41 件、会長とするもの 5 件)で定足数を満たし、総会は成立する。

### ■松浦律子会長挨拶

### ■議長選出

佐竹健治会員を議長に推薦。佐竹健治会員が議長に選出され議長が進行を務める。

## 第一号議案 2021 年度事業報告および決算報告

### 1. 2021 年度事業報告

#### (1) 研究成果発表会および講演会

①第 38 回歴史地震研究会（オンライン苦小牧大会）の開催について（代理：大邑総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)①により説明。

②第 39 回歴史地震研究会（高槻大会）の開催準備について（林行事委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)②により説明。

#### (2) 会誌の刊行について（加納編集出版委員長）

総会資料第一号議案 1.(2)により、『歴史地震』第 37 号を 2022 年 8 月に発行したことについて説明。

#### (3) 広報活動について（室谷広報委員長）

総会資料第一号議案 1.(3)により、ホームページの運用・更新、研究大会の関係学協会への周知、メーリングリストの管理について説明。

#### (4) その他（大邑潤三総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(4)により、研究会の各事業を行うために、大会中の総会 1 回と幹事会 5 回を行ったこと、および社会貢献活動として会員の論文がテレビ番組で紹介されたことを説明。

### 2. 2021 年度決算報告

#### (1)2021 年度決算報告について（諸井財政委員長）

総会資料第一号議案 2 および説明資料の 2021 年度会計監査報告書、会員の現況及び会費受取状況により、2021 年度の収入と支出、オンライン苦小牧大会の収支について報告。

#### (2)会計監査報告（中村監査役、植竹監査役）

2021 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した旨報告。

## 歴史地震研究会 2021年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2021年度会費	1,004,000	1,004,000	0	4000円×251名
	2020年度会費	0	8,000	8,000	4000円×2名
	2022年度会費	0	16,000	16,000	4000円×4名
	会誌バックナンバー代	0	17,110	17,110	会誌14部(送料込)
	会誌口絵代・超過頁代	0	93,500	93,500	口絵×4, 超過頁×1
	寄付金	0	30,000	30,000	小磯修一会員
	前年度繰越	3,027,824	3,027,824	0	
	合計	4,031,824	4,196,434	164,610	

支出	2021年度オンライン苦小牧大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	次年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	歴史地震37号印刷・発送代	810,000	598,565	▲ 211,435	420部, 振込送料165円込
	歴史地震編集費	25,000	10,220	▲ 14,780	編集補助, 振込送料220円込
	HP管理費	10,000	9,385	▲ 615	振込送料165円込
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	功績賞関連費	100,000	0	▲ 100,000	オンライン大会のため
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	8,706	▲ 21,294	資料送付料・他
	合計	1,275,000	626,876	▲ 648,124	

次年度繰越金	2,756,824	3,569,558	812,734	
--------	-----------	-----------	---------	--

〈第一号議案についての質疑〉

質疑：繰越金が増えているのは感染症拡大の影響によるものか？

応答：幹事会および研究大会がオンラインで開催されているため会議費や大会関係費の支出が減り繰越金が増えている（諸井財政委員長）

（議長）第一号議案 2021年度事業報告および決算報告の承認

拍手により第一号議案 2021年度事業報告および決算報告を承認

### 第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第18条第2項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。（大邑総務委員長）

（議長）松浦律子氏の次期会長就任の承認

拍手により松浦律子氏の会長就任を承認

### 第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第18条第4項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。（大邑総務委員長）

(議長) 中村操氏と植竹富一氏の次期監査役就任の承認  
拍手により中村操氏と植竹富一氏の監査役就任を承認

#### ■新会長挨拶と役員指名

松浦律子次期会長より挨拶。2022年度の役員は、副会長に堀川晴央氏(継続)、幹事は総務委員長に大邑潤三氏(継続)、財政委員長に諸井孝文氏(継続)、広報委員長に室谷智子氏(継続)、行事委員長に萬年一剛氏(新任)、編集出版委員長に加納靖之氏(継続)を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

#### ■各新幹事・監査役より挨拶

### 第四号議案 2022年度事業計画および予算案

#### 1. 2022年度事業計画案

##### (1)研究成果発表会および講演会

- ①2021年苫小牧大会で予定されていたが中止となった市民講演会を2022年9月3日(土)14時から苫小牧市民会館小ホールで開催。(大邑総務委員長)
- ②第39回歴史地震研究会(高槻大会)を関西大学高槻ミュージックキャンパスにおいて開催。オンサイトでの開催は2019年徳島大会以来。(大邑総務委員長)
- ③2023年第40回大会を小田原市で開催するため準備を行う。(萬年新行事委員長)
- ④2024年第41回大会の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。(大邑総務委員長)

##### (2)会誌の刊行(加納編集出版委員長)

総会資料第四号議案1.(2)により、会誌『歴史地震』第38号を2023年7月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて説明。

##### (3)広報活動(室谷広報委員長)

総会資料第四号議案1.(3)により、ホームページと会員メーリングリストおよびmushaの運営管理を引き続き行うこと、および会員向けメーリングリストへの登録呼びかけを説明。

##### (4)歴史地震研究に関する業績の表彰(大邑総務委員長)

総会資料第四号議案1.(4)により、歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨を説明。

##### (5)その他(大邑総務委員長)

会の運営のため総会および年間5回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第四号議案1.(5)により説明。

#### 2. 2022年度予算案(諸井財政委員長)

総会資料第四号議案2により2022年度予算案について説明。

〈第四号議案についての質疑〉

質疑：会誌1～15号を研究会ホームページで公開すべく調整を行っていたはずだがどのような状況か？

応答：1～15号は権利関係などの諸問題があり研究会のホームページ上で公開することが困難である。

幸い古いバックナンバーを国立国会図書館に寄贈したところデジタル化され、国立国会図書館デジタルコレクションに収録された（閲覧は送信サービス限定）。現在、昨年開始された個人送信サービスなどにより1～15号をインターネットで閲覧できるようになっている（ただし国会図書館が非公開設定しているページなどは閲覧できない）。よって研究会としては1～15号の公開について国立国会図書館デジタルコレクションに一任することとし、著作権処理などからも解放されたと考えている（松浦会長）

質疑：国立国会図書館デジタルコレクションでの会誌1～15号の閲覧の方法について研究会のホームページなどで案内しているか？

応答：現在、その方法については案内が掲載できていないため、今後ホームページに掲載したいと考えている（室谷広報委員長）

質疑：国会図書館が公開しているということは権利関係がすべてクリアになっているということか？

応答：国会図書館がグレーと判断したものについては公開されていない。なお会誌の内容そのままが公開されているため、内容のミスなどは著者の責任であり、特に研究会からフォローする予定はない。内容を訂正したいのであれば正誤表などを別で作成し公表する必要がある。

訂正：小田原大会の日程について資料では1～4日となっているが1～3日の誤りである（万年行事委員長）

質問：小田原大会の会場の収容人数はどのくらいか？

応答：小ホールは296席である

（議長）第四号議案 2022年度事業計画および予算案の承認

拍手により 2022年度事業計画および予算案を承認

■議長解任

■閉会